

【A 一斉学習】

A1 教員による教材の提示

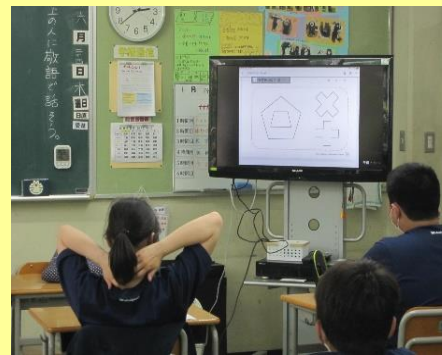


画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

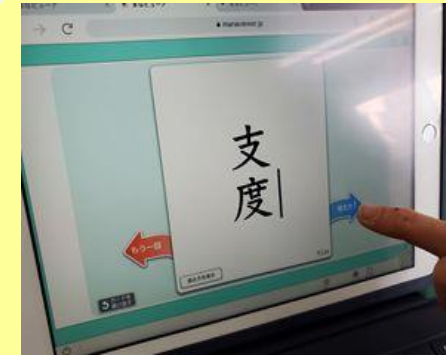
教師が教材を提示する際に、大型提示装置や学習者用コンピュータに、画像、音声、動画などを拡大したり書き込みながら提示したりすることにより、学習課題等を効果的に提示・説明することができる。また、学習者用コンピュータや大型提示装置を用いて、動画・アニメーション・音声等を含む指導者用デジタル教科書・教材を提示することにより、子供たちの興味・関心の喚起につながるとともに、学習活動を焦点化し、子供たちの学習課題への理解を深めることができる。



3年理科



特別支援



特別支援

【B 個別学習】

B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

一人一人の特性や習熟の程度などに応じて個に応じた学習を実施するに当たり、個々の特性に応じてカスタマイズできる学習者用デジタル教科書や、習熟の程度や誤答傾向に応じた学習者向けのドリルソフト等のデジタル教材を用いることにより、各自のペースで理解しながら学習を進めて知識・技能を習得することが挙げられる。また、発音・朗読、書写、運動、演奏などの活動の様子を記録・再生して自己評価に基づく練習を行うことにより、技能を習得したり向上させたりすることが可能となる。この際、デジタルポートフォリオを活用して記録したり、自己評価を行ったりすることも考えられる。



特別支援



3年英語



1年体育

【B 個別学習】

B2 調査活動



インターネットを用いた
情報収集、写真や動
画等による記録

インターネットやデジタル教材を用いた情報収集、観察における写真や動画等による記録など、学習課題に関する調査を行うことが挙げられる。学習者用コンピュータ等を用いて写真・動画等の詳細な観察情報を収集・記録・保存することで、細かな観察情報による新たな気づきにつなげることができる。また、インターネットやデジタル教材等を用いたり、専門家とつないだ遠隔学習を通じて、効率のよい調査活動と確かな情報収集を行うことで、情報を主体的に収集・判断する力を身に付けることができる。この際、インターネット等で得た情報に記号や番号等を付してソートし整理したりすることも考えられる。



3年家庭



2年技術



2年理科

【B 個別学習】

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた
資料、作品の制作

写真，音声，動画等のマルチメディアを用いて多様な表現を取り入れた資料・作品を制作することが挙げられる。写真・音声・動画等のマルチメディアを用いて，多様な表現を取り入れることにより，作品の表現技法の向上につなげることが可能となる。また，個別に制作した作品等を自在に保存・共有することにより，制作過程を容易に振り返り，作品を通じた活発な意見交流を行うことが可能となる。

学校祭のムービー作成

(総合的な学習の時間)

【B 個別学習】



学習者用コンピュータを家庭に持ち帰り、動画やデジタル教科書・教材などを用いて授業の予習・復習を行うことにより、各自のペースで継続的に学習に取り組むことが可能となる。また、学習者用コンピュータを使ってインターネットを通じた意見交流に参加することにより、学校内だけでは得ることができない様々な意見に触れることが可能となる。



1 年国語



1 年社会

【C 協働学習】

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

学習課題に対する自分の考えを、書き込み機能を持つ大型提示装置を用いてグループや学級全体に分かりやすく提示して、発表・話し合いを行うことが挙げられる。学習者用コンピュータや大型提示装置を用いて、個人の考えを整理して伝え合うことにより、思考力や表現力を培ったり、多角的な視点に触れたりすることが可能となる。また、学習者用コンピュータを使ってテキストや動画で表現や考えを記録・共有し、何度も見直ししながら話し合うことにより、新たな表現や考えへの気づきを得ることが可能となる。



3年数学



2年社会



1年国語

【C 協働学習】

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

学習者用コンピュータ等を用いてグループ内で複数の意見・考えを共有し、話し合いを通じて思考を深めながら協働で意見整理を行うことが挙げられる。クラウドサービスを活用するなどして、学習課題に対する互いの進捗状況を把握しながら作業することにより、意見交流が活発になり、学習内容への思考を深めることが可能となる。また、学習者用コンピュータや大型提示装置に、クラウドサービスを活用してグループ内の複数の意見・考えを書き込んだスライドや、書き込みをしたデジタル教科書・教材を映すことなどにより、互いの考えを視覚的に共有することができ、グループ内の議論を深め、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能となる。



3年道徳

【C 協働学習】

C3 協働制作

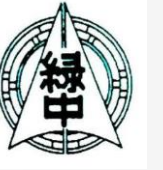


グループでの分担、協働による作品の制作

学習者用コンピュータを活用して、写真・動画等を用いた資料・作品を、グループで分担したり、協働で作業しながら制作したりすることが挙げられる。グループ内で役割分担し、クラウドサービスを活用するなどして、同時並行で作業することにより、他者の進み具合や全体像を意識して作業することが可能となる。また、写真・動画等を用いて作品を構成する際、表現技法を話し合いながら制作することにより、子供たちが豊かな表現力を身に付けることが可能となる。



3年美術



【成果と課題】

○成果

- 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
- 各人が同時に別々の内容を学習
- 個々人の学習履歴を記録
→一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能
- 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有
- 子供同士で双方向の意見交換が可能に
→各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

【成果と課題】

●課題（未実施の活動）

B2 調査活動



インターネットを用いた
情報収集、写真や動画
等による記録

インターネットやデジタル教材等を用いたり、**専門家とつないだ遠隔学習**を通じて、効率のよい調査活動と確かな情報収集を行うことで、情報を主体的に収集・判断する力を身に付けることができる。

→ **「Zoom」「Google Meet」を活用して今年度中に実践予定**

B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデ
ジタル教材を用いた思
考を深める学習

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた学習課題の試行により、考えを深める学習を行うことが挙げられる。試行を容易に繰り返すことにより、学習課題への関心が高まり、理解を深めることができる。

→ **対応するアプリケーションで実践は可能**

C4 学校の壁を越えた 学習



遠隔地や海外の学校
等との交流授業

遠隔地や海外の学校、学校外の専門家等との意見交換や情報発信などを行うことが挙げられる。**インターネットを用いて他校の子供たちや地域の人々と交流**し、異なる考えや文化にリアルタイムに触れることにより、多様なものの見方を身に付けることが可能となる。

→ **市内の学校とのリンクについて検討中**